

# 下大和田谷津田だより

2003年6月号

## 第24回谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP) 谷津田でワイワイ田うえ

5月10日 晴れ

さわやかな晴天に恵まれた下大和田の田植えが行われました。初めての人もたくさん参加され、総勢55人でにぎやかな田植えとなりました。足を泥にとられながらも笑顔で一生涯懸命植えている小さな子、子どものようにキャーキャー騒いでいるお母さん、それぞれに田植えを楽しまれた様子でした。今回は、3畝(およそ100坪)の田んぼにコシヒカリを植えました。今年も順調に稲が育ってほしいですね。

昨年に続き、さらに6月には古代米の田植えも予定しており、そのための草取りや苗代づくりもしました。シオヤトンボやカワトンボが飛び、足元でちびアカガエルがピョンピョンはね、谷津田はすっかり初夏の景色でした。

(参加者：大人33人・小学生11人・乳幼児11人、報告：高山邦明)

## 第40回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

5月4日

5月に入り、動植物が賑わい、定例の観察コースの5分の3程度しか回ることができませんでした。ヒガシカワトンボが盛期でたくさん優美な姿を見せていました。羽が淡橙色で体が濃緑色の個体もいました。

植物：アメリカフウロ、イ、イヌガラシ、イヌムギ、オオイヌノフグリ、オオジシバリ、オオバコ、オニウシノケグサ、オニタビラコ、オニノゲシ、オヤブジラミ、オランダミミナグサ、カキドオシ、カササゲ、カスマグサ、カタバミ、カニツリグサ、カラスノエンドウ、キュウリグサ、クサイチゴ、クサノオウ、ケキツネノボタン、ゲンゲ、コウガイゼキショウ、コハコベ、コメツツメクサ、サワフタギ、ショウブ、シロツメクサ、スイバ、スカシタゴボウ、スズメノカタビラ、セイヨウタンポポ、セリ、タガラシ、タチイヌノフグリ、タチツボスミレ、タネツケバナ、チガヤ、ツボスミレ、ツメクサ、トウバナ、トキワハゼ、トボシガラ、ナガミヒナゲシ、ニガキ、ノゲシ、ノダフジ、ノミノフスマ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ、ヘビイチゴ、ホウチャクソウ、マムシグサ、ミズタネツケバナ、ミゾイチゴツナギ、ミミナグサ、ムラサキケマン、ヤエムグラ、ヤクナガイヌムギ、ヤブタビラコ

野鳥：ウグイス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ

昆虫ほか：ヤニサシガメ?幼、アカサシガメ、アブ sp., オオメカメムシ、キアゲハ、キタテハ、コアオハナムグリ、シオカラトンボ、シオヤトンボ、ツチイナゴ、ツバメシジミ、ツマキチョウ、トゲヒシバツタ、ナナホシテントウムシ、ヒガシカワトンボ、ヒメギス、ホシハラビロヘリカメムシ、ムシヒキアブ、ヨツボシオオクスイ、クワゴマダラヒトリ(幼)、シロシタホタルガ(幼)、タケカレハ(幼)、コガネグモ、マミジロハエトリ、シュレーゲルアオガエル

(参加者：5人、報告：網代春男)

## 下大和田季節のたより

5月5日 手足の生えそろったアカガエルがたくさん見られる。まだ尻尾は残っている。

5月10日 シュレーゲルアオガエルのオタマジャクシが誕生。田んぼでは5リ足らずのドジョウの稚魚も。サバが飛び一方で、まだアカラの声がする。

5月17日 コアカシアの咲く斜面林から渡りの途中に立ち寄ったホトシヅメのさえずりが聞こえる。キョウが咲き、田んぼにトウモロコシの芽生えも。

5月24日 谷津にホトシヅメのさえずりが響きわたり、アソ原からはオタマジャクシの声も。あぜ道ではドジョウが咲き、カワトンボやシオカラトンボ、時にヤサカギなど、トウモロコシの姿もたくさん見られるようになる。アカガエルに加え、ちびトウモロコシの姿も見られる。

田植えのあと、5月としては珍しい長雨があったために、稲がなかなか根付かず心配しましたが、ようやく元気になってきました。古代米の苗代は数センチに育った若葉がいたりとりどりでとてもきれいです。そろそろホタルのたよりが聞こえてくる季節ですね。身近な谷津に出かけてみましょう。

高山邦明